

第2期草津市行政経営改革プラン（案）に関する
パブリックコメントの実施結果について

実施結果

- 1 実施期間 令和6年12月9日（月）から令和7年1月8日（水）まで
- 2 意見者数 1人
- 3 意見総数 2件（意見の内容および意見に対する市の考え方は別添のとおり）
- 4 意見の反映件数 0件

周知方法

広報媒体	実績
計画案(本編および概要版)の配架	配架場所（閲覧者数） ・経営戦略課（0人） ・情報公開室（0人） ・草津市立図書館（2人） ・南草津図書館（0人）
資料送付	送付数： 0件（団体0件、個人0件）
個別説明	説明数： 0件
市ホームページ	アクセス数：198件 （令和7年1月9日確認）
広報紙	令和6年12月1日号
資料提供	令和6年11月29日付け
その他（電子申請サービス、X、LINEVROOM、Facebook）	令和6年12月9日付け

概要版のみ掲示施設

- ・各地域まちづくりセンター（14箇所）
- ・各隣保館（4箇所）
- ・アーバンデザインセンターびわこ・くさつ
- ・市民総合交流センター

結果公表

- ・市ホームページ 令和7年3月1日
 - ・広報紙 令和7年3月1日号
 - ・資料配架 令和7年3月1日～令和7年8月31日
- 配架場所
- ・経営戦略課
 - ・情報公開室
 - ・草津市立図書館
 - ・南草津図書館

第2期草津市行政経営改革プラン（案）

提出された意見と市の考え方

No	意見（ページ数）	市の考え方
1	（7 ページ） 草津市の積極的なD Xの取組は市民が広く利益を享受できるものであり、今後もこの方針を維持することを望みます。今後は外部事業者も巻き込んだより広域なD X化が進むことを期待します。例えば保育園の一時預かりに関する情報 (https://www.city.kusatsu.shiga.jp/kosodate/ksodateoen/ichijiazukari.html) は「詳細は各施設にお問い合わせください」と言及するにとどまっており、情報提供が十分にD X化されているとはいえません。今後はこうした外部事業者を巻き込んだ、共通化したプラットフォームでのD X化が必要だと考えます。	第1期計画に引き続き、今後も、より質の高い行政サービスの提供や、行政運営の効率化を図るため、D Xの取組を推進してまいります。 また、取組の推進に当たりましては、時代の変化に応じて事業の手法や組織の体制を改善・改革するとともに、民間事業者、関連団体や、周辺自治体との連携など、組織の枠を越えた公民連携・広域連携の取組を進めることが一層重要であると考えております。御指摘いただいた内容も踏まえ、関係課と調整を図りながら、可能な限り、きめ細やかな情報提供や本市に適したデジタル技術の実装に取り組んでまいります。
2	（9 ページ他） 指標の設計をより具体的に、目指す状態への到達度合いを反映する量に置き換えるべきだと考えます。例えば（2）広域連携の推進における指標が「広域連携による新たな共同研究・事業数」になっていますが、事業数は必ずしも広域連携の成功を意味しないと考えます。例えば「広域連携により共通業務を XX%効率化」など、指標を具体化するべきと考えます。	改革に向けた実施計画に係る指標の設定に当たりましては、第1期計画の取組内容や成果等を踏まえ、可能な限り定量的な指標を用いてお示しさせていただいたところです。 「広域連携の推進」に関する指標につきましては、お示しいただいた「共通業務による効率化」も目指すところではございますが、広域連携から得られるメリットとしての業務の効率化は、予算削減や質の確保など様々な要素があり、指標として表すことが難しいと考えております。

		そのため、「広域連携による新たな共同研究・事業数」を指標とし、広域連携を行う事業数を増やすことで、効率化等を図る範囲を広げてまいります。 なお、各実施計画に係る詳細なスケジュールや取組内容は、毎年作成する工程表により進捗管理を行い、学識経験者や関係団体の関係者等で構成された「草津市行政経営改革推進委員会」からの提案・助言もいただきながら、具体的な改革の取組を推進してまいります。
--	--	--

▼原案への反映について

パブリックコメントの実施結果による計画（案）の修正・変更はありません。

お寄せいただいた御意見は、計画に基づく具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。